

第64回全国大会東北八戸大会 「地域再興フォーラム」
～地域再興戦略2020 ナンバーワンを目指して～
トークセッション講師プロフィール

あいかわ としひで
相川 俊英氏

地方自治ジャーナリスト

(略歴)



1956年群馬県伊勢崎市生まれ。早稲田大学法学部卒業。放送記者を経て1992年に独立し、フリージャーナリストに。1997年から「週刊ダイヤモンド」の委嘱記者となり、地方自治や地域経済を担当する。1999年からはテレビ朝日・朝日放送の報道番組「サンデープロジェクト」の番組ブレーンも務め、自治体関連の特集の企画・取材・レポートを担当した。全国各地を取材して回る日々を送っており、一年間に40都道府県を訪れる年もある。「日本一、直接首長にインタビューしている記者」といわれる。2014年から地方自治ジャーナリストを名乗り、書籍やテレビ・ラジオ、雑誌、Webサイトなど各種メディアを発表の場としている。主な著書として「長野オリンピック騒動記」（草思社）、「神戸都市経営の崩壊」（ダイヤモンド社）、「トンデモ地方議員の問題」（ディスカヴァー携書）、「国に頼るからバカを見る 反骨の市町村」（講談社）などがある。今年10月に集英社から「奇跡の村（仮題）」を出版予定。

きのした ひとし
木下 斉氏

一般社団法人エリア・イノベーションアライアンス代表理事

(略歴)



1982年東京都生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、一橋大学大学院商学研究科修士課程修了、経営学修士。専門は経営を軸に置いた中心市街地活性化、社会起業等。2000年、高校時代に全国商店街の共同出資会社である株式会社商店街ネットワークの設立に参加、初代社長に就任し、地域活性化に繋がる各種事業開発、関連省庁・企業と連携した各種研究事業を立ち上げる。その後経済産業研究所や東京財団の研究員を務めると共に国内外のまちづくり事業分析とビジネスモデル開発に従事。2008年より熊本市を皮切りに地方都市中心部における地区経営プログラムの全国展開を開始。2009年には事業を通じた自立的な地域活性化を目指す全国各地のまちづくり会社、商店街と共に一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンスを発足。2013年より一般社団法人公民連携事業機構を発足し、全国的普及を進めている。主な著書に、『稼ぐまちが地方を変える・誰も言わなかった10の鉄則』、『まちづくりの経営力養成講座』などがある。